

WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



Weekly Report

VOL.14 No.15 TOTAL 577 平成23年11月7日 第595回例会

[例会日] 毎週月曜日 12:30~13:30
 [例会場] 和歌山市湊通り町北2-1-2 アバローム紀の国
 [事務局] 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階(T640-8249)
 TEL073-435-3470/FAX073-435-3472
 E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/後和 信英 [会報委員] ○宮本 和彦
 副会長/西田美恵子 ○南方 孝一 田邊 和喜
 幹事/小形みちる 足立 聖子 松本 博



2011-12年度
国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach Within to Embrace Humanity

RI会長 カルヤン・パネルジー

2011-12年度
アゼリアロータリーのテーマ

おもう
『ロータリーの原点を回想』

＜今日の例会＞

- 第595回例会 11月7日(月)
- ☆ 誕生会
- ☆ 内部卓話
- 「4ヶ月を振り返って」 後和 信英会長
- 「新入会員の自己紹介」 岡本 嘉之会員

＜次回のお知らせ＞

- 第596回例会 11月14日(月)
- ☆ クラブフォーラム
- 「今後のプログラムについて」
- 出席プログラム委員会

＜前回の例会記録＞

- ロータリーソング 日も風も星も
- ゲスト紹介
- ビジター紹介 和歌山東南ロータリークラブ
市川正夫様 竹中昭美様
- 出席報告 会員数38名 出席免除3名
本日の出席(10/31) 28/37名 75.67%
前々回修正出席(10/17) 28/37名 75.67%
- メイクアップ 役員及びクラブ行事へ 4名

＜四つのテスト＞

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか
- II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

●市内9ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	11月7日(月)	臨時総会「次々年度会長、次年度副会長、次年度理事選出方法について」
和歌山	11月8日(火)	卓話「税よもやま話」
和歌山サンライズ	11月8日(火)	
和歌山東南	11月9日(水)	クラブフォーラム
和歌山西	11月9日(水)	テーブルミーティング ~ガバナー公式訪問に備えて~
和歌山東	11月10日(木)	臨時総会「次々期会長、次期副会長、次期理事選出方法」
和歌山城南	11月10日(木)	大澤徳平ガバナー公式訪問
和歌山南	11月11日(金)	卓話「国民の利便性の向上と効率化のための取組」
和歌山中	11月11日(金)	卓話「地区国際奉仕活動について(仮)」

○ 会長報告



会長 後和信英

皆さんこんにちは。今日もご出席ありがとうございます。また、今日は東南RCよりIM担当委員長の市川さん、副委員長の竹中さんがお出で下さっています。後ほどIMのPRをして下さいますので、御説明よろしくお願ひします。さて、先週に引き続き「紅葉」についてお話をさせて頂きます。

日本の紅葉というのは、世界で一番美しいと言われています。皆さんご存じの、黄色のブナ、赤いカエデ、透き通る薄い緑色のコシアブラ、ほのかに赤いウワミズザクラ、淡い黄色のトチノキというように、色とりどりの紅葉が楽しめます。カナダの森も紅葉がありますが、ほとんど黄色一色または赤一色です。日本の紅葉が美しいといわれる秘密は木の種類が多いからです。それは、氷河期に凍らなかった沿岸の木々が生き残り、氷河期が終わって、生き残った木々が日本を覆ったからといわれています。また、わが国だけで9万種類の動植物が存在すると言われますが、人口1億人以上の日本が、これだけ豊かな自然に包まれているということに感謝する次第です。本当にこの国に生まれてよかったです。今日はこれで終わります。

○ 幹事報告



幹事 小形みちる

今日は和歌山東南RCの市川様そして竹中様、ご訪問有難うございます。最後までおかつろぎ下さいませ。月末ですのでワンワン基金の募金箱を回させていただきます。地区より国際大会のパンフレットが届いておりますので回覧します。今年度の開催地はバンコクで5月6~9日に開催されます。参加される方はお申し出下さい。また、和歌山大学で11月19日に開催される、世界エイズデーのイベントの案内も、地区より届いておりますので、併せてお目通し下さい。後ほど東南RCさんよりご説明して頂きますが、IMのパンフレットをボックスにて配布しております。よろしくお願ひいたします。

委員会報告

◎ゴルフ同好会

貴志孝生会員



さて、先にファックスにてご案内させていただいておりますが、11月17日(木)に第10回貝塚コスモスRC・和歌山アゼリアRC合同ゴルフコンペを開催いたします。恒例の貝塚コスモスRCとの親睦ゴルフコンペです。

現在6名ほど参加予定です。本日締め切りとさせていただきますので、ご参加される方はお申し出下さい。

期 日：2011年11月17日(木曜日)

場 所：有田東急CC (TEL 0737-32-4109)

集合時間：9:30 (スタート10:00～)

◎東南RCよりIMのご案内

IM担当実行委員長 市川正夫 様

副委員長 竹中昭美 様

皆さんこんにちは。本日は貴重な例会時間を頂き、IMのPRをさせていただきます。

2012年1月21日(土)和歌山ビッグ愛(1階大ホール)にて、インターシティミーティングが開催されます。登録受付12:30～です。

今回は、IM3組のみの開催ということで、従来の地区の部門別ミーティングはございません。

テーマは「災害の予防と被災後の支援のあり方について考える」で、我々RC、個々がどのような事ができるだろうか

という主旨です。プログラムにつきましては、1部が、テーマについて各クラブからの報告と提言として、発表して頂きます。

詳細につきましては、会長幹事会にてご連絡させていただきます。

そして2部が、「濱口梧稜と津波予防」としまして津波防災教育センター館長の熊野様をお招きしてご講演いただきます。

皆様多数のご参加をお願い申し上げます。



◎クラブフォーラム

「我が社の職業奉仕について」 職業奉仕委員会

今月は職業奉仕月間です。

ご自信が実践されている職業を通じての奉仕活動について話し合ってください。



新入会員のかたもおられますので、まず、手続要覧から職業奉仕についての抜粋を準備しています。各テーブルで読み合わせてから始めてください。

討議題目

- ①あなたの職業を通じて、実践可能な奉仕活動はどのような事があると、お考えでしょうか？
- ②現在または過去に職業を通じて実践された奉仕があれば、お聞かせ下さい。
- ③その他

Cグループ (リーダー：吉岡 記録：井上 メンバー 小門・掛下・石橋・白神・大野・三木)

①について

- ・会員同士の互惠意識を高める。
- ・しっかり利益を上げて、税金を納める。

②について

- ・通園する子ども達の母親が働きやすく活動しやすくなるようなプログラムの実施。
- ・仕事、顧客を通じてのボランティア活動。
- ・お客様には親切に、100%に近い満足を与える努力。
- ・自身がまじめに、正直に仕事をする。
- ・職場体験。
- ・組合で仕事を分担し、地域密着、お年寄りをより大切にする方法を考慮しての仕事。
- ・仕事を、顧客に対してその分野の勉強の場と考えた営業。

Dグループ (リーダー：田原 記録：松本良 メンバー 川野・西田・坂部・澤本・後和・鹿嶋・足立)

①について

- ・正社員でなくても、出来る仕事はできるだけパートさんを多く雇用するようにしている。そして、地元地域から雇用するようにしている。
- ・知的障害者の方を雇用している。現在居る人は18歳の時に来られて、35歳の現在まで勤められています。
- ・介護福祉の職業柄、地域に密着した福祉事業にし、常に奉仕の精神は保ち続けたいと思います。
- ・自分の持っている仕事の能力をまだまだ奉仕に繋げていき、人と接するときは、明るい表情や笑顔を持って接するように指導している。私自身も実践しています。
- ・流通業ですが、製造者・生産者や買う人の気持ちを大切に、お付き合いをしている。

Eグループ (リーダー：安宅 記録：野村 メンバー 貴志・山田・菅仲・小形・松本博・岡本)

①について

- ・周辺の清掃活動。

・募金をして植樹していく。

②について

- ・会社の開発を通じて、町づくりをし、地域に貢献。
- ・3C運動。
- ・音楽を通じてチャリティライブを行った。
- ・障害者の就労支援。
- ・スポーツを推進する為の就労支援。

③について

- ・フォーラムを通じて、改めて奉仕活動を見直す。



● 卓話〈続編〉

加納会員より、以前に自動車関係の卓話をしていただきましたが、その後の近況報告を週報に掲載して欲しいと、ご依頼がございましたので掲載させていただきます。ご覧下さい。

「その後の電気自動車(EV)の開発状況」

加納達之会員

一昨年(2009年)この席で、地球環境問題と電気自動車についてお話をさせていただきました。

当時、環境問題は有害排ガスからCO₂を少なくする点に焦点が移り、低公害車として、エタノール車、ハイブリッド車(HV)、電気自動車(EV)、燃料電池車と、取り上げられたが、エタノール車は広がらず、穀物相場が高騰しただけ。HVは「プリウス」一車種のみ、この年ホンダが「インサイト」を発売。EVは各社で取り組まれているが、電池の性能がイマイチで、いつ、ものになるのかという状態。燃料電池車は理想の車として研究開発されているが、実用車にはなりそうもない。というような情報が世間一般の認識でした。

ところが、技術開発の現場はそんなところに留まっていなくて、この年2009年にEVは飛躍的に走り出す。同年7月三菱自動車は「iMiEV」(販売計画 初年度年間2000台、2年目4000台)を法人向けに販売開始。それとほぼ同時期に富士重工は「ステラEV」を法人向けに販売する。

この2車種が世界的に見て大手自動車メーカーによるEVの本格的量販のスタートとなる。

こうした日本での動きと平行して、世界の各社でEVの量産計画が進んでいる。

以下にその概要を示す(注:PHEVはPlug-In Hybrid Electric Vehicle = プラグインハイブリッド

車の略。走行距離40km~80km程度のEV走行モードを持つガソリンハイブリッド車である)。

<日本>

- ・三菱「iMiEV」2009年7月発売
- ・富士重工業「ステラEV」2009年夏発売
- ・日産 EV専用車 2009年10月東京モーターショー公開
- ・トヨタ プリウス PHEV 実証試験中、2011年発売予定
- ・同 EV専用車 2012年発売予定

<アメリカ>

- ・TESLA「Roadster」発売中
- ・同「Model S」(4ドア車)2011年発売予定
- ・Aptera「2e」2009年第三四半期発売予定
- ・Fisker「Karma」PHEV 2009年中に発売予定
- ・Miles 米中合作 2009年低速走行車発売中、2010年高速走行可能車発売予定
- ・Ford 商用「Transit Connect」EV、中小型の乗用EV 2010年発売予定
- ・同社PHEV 2012年発売予定
- ・GM「Chevrolet Volt」PHEV 2010年末~2011年発売予定
- ・Chrysler 米ベンチャーと共同開発 2010年発売予定(経営再建中にて実施は未定)

<ヨーロッパ>

- ・ドイツ/Daimler「SmartEV」2009年実施試験
- ・ドイツ/BMW「mimiE」2009年実施試験
- ・オーストリア/MagnaSteyr「MilaEV」2010年OEM(相手先ブランド製造)
- ・ノルウェー/Think 2009年4月現在、事業停止。2009年中盤以降の量産再検討中

<中国>

- ・BYD「F3DM」PHEV2008年12月から法人向け発売中
- ・同「e6」2011年発売予定

<アジア太平洋州>

- ・インド/TATA「IndicaVistaEV」2009年秋発売予定
- ・インド/REVA市街地走行用 発売中
- ・台湾/Yulon(裕隆汽車)米ベンチャーAC Propulsion共同開発2010年発売予定
- ・マレーシア/Proton ベルギー/Detroit Electric(米ZAP社傘下) 2010年発売予定

ここにホンダの名が無い。トヨタも「プリウス」のPHEVしか出ていない。ホンダもトヨタもEVに対して積極的でないようにみえる。おそらくハイブリッドという素晴らしい技術を持っているからだろう。日産が持てる力のすべてをEVに投入している

のとは対照的である。

ホンダもトヨタも本来ならEVなど今は造りたくないという姿勢ながらそうもいかない。カリフォルニア州の規制というのは、新車から出るCO₂などの温室効果ガスを2015年までに現代の29.2%減らすよう義務付ける規制。全米最大の自動車市場カリフォルニア州でこの規制が実施される為、アメリカ市場でEVの競争が激しくなりそうだ。

ホンダも初めて量産型のEVを発表。「Fit EV」は1回の充電で160km、2012年日本とアメリカで発売予定。

トヨタはアメリカのベンチャー企業テスラ・モーターズと共同製作して、2012年に発売する「RAV-4 EV」を発表した。

日産は「リーフ」を2010年12月から日米で発売している。

5人乗り 200km航続距離 価格376万4250円(消費税込み)

78万円の補助金(お客の負担 298万4250円)

資料にも載っている。

フォードもGMもEVに力を入れている。

このような最近の流れを見て、トヨタももっとEVに力を注がないと、テスラ・モーターズに資本参加したのだろうし、2009年の北米国際オートショーにはFT-EVを、10月の第41回東京モーターショーにはFT-EV IIを発表している。一般家庭のコンセントから充電可能で、最高時速110km/h、航続距離90kmを記録している。

トヨタはプリウスのインバーターやモーターや制御などでEVに関する優れた技術を持っている。現にIQをベースにした試作車の試乗記によると素晴らしい性能だというのが販売には積極的ではない。というのは「EVは近距離のコミューター」である。と考えたのだが、走行距離の少ないコミューターだと安い電気代を生かせません。10万kmも走ればガソリン車より50万円~70万円高くても安い電気を使うことでペイ可能。けれど近距離しか使わないコミューターなら安価なガソリン車の方がコストパフォーマンスが高い。誰もEVなんか買わないでしょう。現に1ℓで30km走るガソリン車をダイハツ・マツダが発表している。必要とされるEVは、一回り大きい150~200万円級のクルマになるのではないのでしょうか。こうした開発競争が展開されてEVは次世代環境車の中で大きな位置を占めるでしょう。そのとき自動車の姿は急激に変化する。

これまでのドア・ツー・ドアで人を運ぶもの、さらにCO₂の排出量の少ない環境対応の進んだものに加えて、今後は、災害対応や、節電対応、様々な役割が必要になっていく。

今後、全国各地で電力不足が予想される。最適な電力供給に協力しなければ、トヨタは考えている。

例えばEVやPHVを家庭で充電しようとする、家庭の一日分の消費電力の30%以上を使ってしまう。もし多数のユーザーが集中して同じ時間帯にEVを充電すると、社会全体の電力のピーク値を高めてしまう可能性がある。1台の次世代環境車と1つの住宅が有機的に作用しあって電量の最適な需給を満たす仕組みを作り上げる必要がある。トヨタがHEMS(ホーム・エナジー・マネジメント・システム)のようなITインフラと次世代環境車を同時に開発しようとしているのは、このような理由からだ。このような電力事情の問題軽減に役立つような新しい技術のニュースがある。それは塗るだけで太陽光発電のパネルが出来てしまう塗料です。

「塗布変換型有機太陽電池」といって、三菱化学と東京大学との共同開発により開発された。シート状にして折り曲げることが出来るので、カーテンやひさし、外壁等に応用し2009年夏を目途に商品化を計画している。自動車に塗れば、晴れの日には2時間で10~15km走行できるほど発電可能。今後、自動車メーカーとの共同開発により2015年度には実現したいと考えられている。時を同じくしてドイツのダイムラーからフランクフルト・モーターショーで「有機太陽電池」を車体に塗ったEVを公開すると発表した。

新しいアイデアの技術やシステムが投入されると、それに伴って新しい問題も生じる。するとそれを解消しようとする新しいアイデアの技術が生まれる。こうして技術は次々と発展していくものですね。

S・A・A 報告 【3つの箱】

*ニコニコ箱

和歌山東南RC 市川様・竹中様 IMに参加ご協力お願い致します。

澤本栄子会員 川柳に花を持たせて頂き、その上ご褒美に与かり、有難うございました。お礼をと思い、今日はニコニコへ寄付させて頂きました。

坂部美智子会員 本日は、東南RCの市川様・竹中様、ようこそお出で下さいました。よろしくお願い致します。

松本 博会員 入会させて頂いて半年が過ぎました。まだまだ初心者マークですが、よろしくお願い致します。

後和信英会員 本日もよろしく申し上げます。東南RC市川様・竹中様ようこそお出で下さいました。

小形みちる会員 私事ですが、京都に嫁いでいる姪に3女が今朝誕生しました。とっても幸せな気分です。

本日合計額 25,000円 今年度累計額 552,000円

*ロータリー財団

坂部美智子会員 本日合計額 2,500円

*米山奨学

坂部美智子会員 本日合計額 2,500円